

教育委員会会議録（10月定例会）

日 時

令和元年10月24日（木）
午後1時30分から午後2時5分まで

場 所

日立市役所 庁議室

出席委員

教育長	中山 俊恵
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	土屋 静治

委員以外の出席者

教育部長	窪田 康德
総務課長	松本 正生
学校施設課長	石川 涉
学務課長	中島 修
生涯学習課長	庄司 和江
スポーツ振興課長	木下 俊雄
指導課長	森山 秀一
指導課課長	稲田 訓子
郷土博物館長	豊田 瑞穂
記念図書館長(兼)視聴覚センター所長	山田 美幸
教育研究所長	小池 洋一
北部学校給食共同調理場長	荒川 敏明
総務課副参事(兼)計画財務係長	酒地 康彦
総務課課長補佐(兼)庶務係長	鷲 秀哉
総務課主幹	吉野 成実
総務課主幹	芳賀 秀人

議 事

報 告

報告第10号 教育委員会9月定例会の会議録について

その他

- (1) 令和2年度日立市予算編成方針について
- (2) 第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」日立市開催競技の結果等について
- (3) 台風19号による被害状況について
- (4) 教育委員会関連行事等について
 - ア 第19回青少年のための科学の祭典・日立大会について
 - イ 文学講座「読むことと自分創り～評論家 長山靖生さん講演会～」について
 - ウ 図書館まつりにについて
- (5) その他

会議の概要

1 開 会

教 育 長 それでは、只今から10月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が1人おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 1 0 号 教育委員会9月定例会の会議録について

教 育 長 それでは、まず、報告第10号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 そ の 他

(1) 令和2年度日立市予算編成方針について

教 育 長 続きまして、その他に移ります。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長 まず「景気の現状と先行き」です。
経済状況については、国・県ともに「緩やかに回復しつつある。
先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策
の効果により、緩やかに景気が回復していくことが期待される。」
とされております。

一方で、本市では、平成30年度決算において、一部企業の減益
により法人市民税が減額となっており、日立商工会議所が公表しま
した本年度第1四半期の景気観測では、「全産業の業況について下
向き」と示されております。

昨年度から引き続き、原材料費の上昇、人手・人材不足、消費税

率の引上げなどにより、各業種とも依然として厳しい状況が続くことを見込んでおります。

これらのことから、国・県レベルでは「緩やかに回復している」とされているものの、本市においては、未だ景気回復の実感は乏しい状況にあります。

したがって、次年度の見通しについても、厳しさが続くことが予想されることから、国や県の施策等の動向を十分注視していく必要があると考えております。

次に「本市の財政状況と収支見通し」です。

令和2年度の歳入の見込みでは、消費税及び地方消費税の税率の引上げにより増額が見込まれるものの、市税収入は、令和元年度と同程度となる見込みです。

一方で、歳出では、社会保障関連経費等の扶助費の増加が見込まれ、また、法改正により、会計年度任用職員制度の創設による人件費の増加といった義務的経費の増加が見込まれており、財政運営の硬直化が懸念されております。

市税収入は減少傾向、扶助費は増加傾向、さらに、平成22年度以降は、歳出総額が市税収入を上回り、その収支の差が年々大きくなっていく傾向にあります。

このような状況から、「日立市総合計画後期基本計画」や「第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた事業の着実な推進と、健全な財政運営の両立を図るためには、引き続き、国・県からの補助金・交付金の積極的な獲得と、既存事業の見直しなど、財源確保を必要としているところです。

次に「令和2年度予算編成の基本方針」についてです。

まず、重点予算項目です。

本年7月に策定された「日立市政運営ビジョン2020」において、市長の所信表明に掲げた「6本の柱」が来年度の重点取組事項とされ、同時に、令和2年度予算編成における重点予算項目とされています。

1本目の柱は「地方創生・人口減少対策」、2本目の柱は「質の高い安全・安心のまちづくり」、3本目の柱は「人生100年時代を見据えた超高齢社会への対応」、4本目の柱は、「新時代の産業都市を目指す産業振興」、5本目の柱は「まちの将来発展を支える都市力の向上」、最後の6本目の柱は「持続可能なまちづくり」です。来年度予算編成に当たり、これら6本の柱にひも付けした要求が求められております。

次に「シーリングの実施及び選択と集中による予算編成」についてです。

令和2年度については、義務的経費等を除いた経常経費と各種補助金に対し、「部」を単位とした、令和元年度当初予算額を上限と

するシーリングが設定されます。経常経費については、市民の目線に立ったゼロベースからの事業の見直しに、主体的・積極的に取り組んでまいります。

次に「予算編成に際しての留意事項」についてでございます。

おおむね昨年度までと同様ですが、今年度追加された項目といたしまして、「会計年度任用職員制度」についてです。

地方公務員法等の改正により、令和2年4月から会計年度任用職員制度が導入されることになりました。この制度は、近年、教育・子育て等様々な分野で活躍され、地方行政の重要な担い手となっております「臨時・非常勤職員」について、適正な任用・勤務条件を確保するため創設されたものです。こちらについて、適正な予算要求を行うものとされております。

これらを踏まえまして、現在、教育委員会事務局では、予算編成方針に基づいた来年度事業の検討を進めているところです。

今後とも、既存事業の成果の検証を進めますとともに、新たに策定いたしました「日立市教育振興基本計画」に位置付けております施策、さらには、総合教育会議、教育委員会定例会などにおける委員の皆様のご意見等を踏まえまして、子どもたちのより良い学校教育環境の整備を推進し、充実した教育行政の実現に向けた予算編成を進めてまいります。

委 員 希望を申し上げさせていただきます。

来年度の重点予算項目として、6本の柱で展開していくということですが、「教育」に関する項目が出ていないようです。

次年度以降、まずは「日立市政運営ビジョン」の中に「教育」を掲げていただけるよう、なおかつ柱の一つとして、「教育」が項目出しされるよう、働き掛けていただければと感じました。

(2) 第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」日立市開催競技の結果等について

総務課長 まず、会期については、9月28日から10月8日までとなっておりますが、会期前開催競技として、9月7日からは新体操、9月12日からは体操競技が実施されました。また、デモンストラーションスポーツとして、日立市発祥のスポーツであるパンポンを8月31日に開催しております。

日立市開催競技は新体操、体操競技、卓球、バスケットボール、軟式野球の4種5競技で、それぞれ、池の川さくらアリーナ、久慈サンピアスポーツセンター、市民運動公園野球場等が会場となりました。また、デモンストラーションスポーツのパンポンは、池の川さくらアリーナで開催し、来場者数は1,100人、うち選手・監

督等が750人でした。

続きまして、茨城県の競技成績についてです。

茨城県といたしましては、天皇杯皇后杯ともに総合1位という結果を残しております。新体操は少年女子が3位に入賞、体操競技は成年男子が1位、成年女子が3位、卓球は少年女子が2位、バスケットボールは少年男子が3位、成年男子が2位、軟式野球は成年男子が2位という成績を残しております。

日立市開催競技の参加者数は65,813人、うち学校観戦をした学校が久慈三育小学校を含む小学校26校で、4年生から6年生まで4,364人でした。

動員体制は、教育委員会事務局等の職員63人が新体操競技を担当しました。また、大久保中学校、泉丘中学校の生徒23人が同競技会の補助員として従事しました。

なお、全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」については、10月12日から14日までの開催を予定しておりましたが、台風19号の接近により中止となっております。

(3) 台風19号による被害状況について

総務課長 これまで台風の被害状況について、教育委員会において報告はしておりませんでした。今回の台風は全国的にも、また、本市においても大きな影響があったことから、報告させていただきます。

まず、日立市への影響です。

日立市役所においては、10月12日(土)午後11時31分に最低気圧を観測し、この時間が最も日立市に台風が近づいた時間と推測しております。

降り始めからの総降水量は、西部観測所で247ミリを観測しており、この数字は同観測所における1日当たりの総降水量史上1位を記録しました。

次に河川の状況についてです。久慈川の榊橋において、午前6時40分に7.46メートルの最大水位を記録しております。計画高水位は7.54メートルであるため、危険な状況であったことが分かるかと思えます。

最大風速は、南南西の風秒速13.7メートルでした。

日立市における人的被害については、幸いにも死者はおりませんでした。一方、軽傷者は1人でした。

次に、避難所の開設状況についてです。

こちらは、10月12日(土)の午後11時が最も避難者数が多い時間帯となり、1,709人、906世帯の方が避難されました。

避難所は全部で39か所開設しましたが、うち小学校は、東小沢

小、久慈小、中里小を除く22校、中学校は15校、その他として、日立商業高等学校と、今回初めて池の川さくらアリーナを開設しました。

続いて、教育委員会所管施設の被害状況についてです。

学校関係では、倒木・枝折れが主なものでしたが、河原子中学校では防球ネットの破れが2か所発生したこと、久慈川河川敷運動場では水没してしまったという被害がありました。

いずれの事案についても、業者又は職員により対応の手配を済ませております。

委員 各河川が最大水位に到達した時間は、それぞれ10月13日の日曜日の時間でよろしいのでしょうか。

総務課長 はい。それぞれ10月13日日曜日未明から明け方にかけてとなります。

委員 避難者数は合計で1,709人だったということですが、市内の避難所の中で一番避難者数が多かったところはどこでしたか。

また、教育委員会所管施設にも被害があったとのことですが、心配なのは防球ネットについてです。防球ネットの安全点検の実施状況について教えていただけますか。

併せて、学校における施設の安全点検について、実施状況を教えてください。

総務課長 避難所の人数について、一番多かった避難所は、池の川さくらアリーナで175人でした。また、学校で最も多かったのは、久慈中学校で144人でした。

学校施設課長 今回、河原子中学校の防球ネットが破れたということですが、9月に発生した台風15号の影響で破れたものが、今回の台風で更に破れてしまったという状況にあります。修繕の手続きは取っていたのですが、台風が続いてしまったことから、このような状況に至っております。

防球ネットも含め、学校施設の安全点検については、日常的には各学校の先生方をお願いしており、危険と思われる箇所があった際には学校施設課の担当者に連絡が入り、その都度対応しております。

また、毎年夏休み期間中には、学校敷地内を全て歩き、遊具を含めた安全点検を実施し、その場で修繕の手続き、もしくは、次年度への予算計上につなげているところです。

さらに、3年に一度、建築基準法第12条に基づく法定点検を全

校で実施しております。直近では、今年度と来年度の2か年をかけ、全41校で実施しており、点検当日に指摘されたものについては、程度の大小がございますので、順次対応しております。

スポーツ振興課長 先程説明があったとおり、久慈川河川敷運動場が水没し、防球ネット等が倒伏する被害がありました。

これまでの防球ネットの被害は、強風にあおられてネットが揺れる程度のものでしたが、今回は川の増水により水没し、なおかつ流れてきたがれきが引っ掛かったことで、ポール自体が倒れてしまったという被害が中心でした。

応急的な措置はすでに終わっておりますので、グラウンド面に土や山砂を入れて転圧するなどの対応を取ってまいります。

安全点検については、こちらの運動場は指定管理者制度を導入しておりませんので、地元組織である久慈川河川敷運動場管理運営協議会に管理をお願いしており、基本的には毎日目視等による点検をしていただいております。

その他、学校施設と同様に年に一度、スポーツ振興課の職員が全施設の安全点検を実施し、必要に応じて緊急的な措置を図ったり、次年度の予算要求に反映させたりといった対応をしております。

教 育 長 河原子中学校の防球ネットは現在どのような状況ですか。

学校施設課長 業者への手配は完了しており、新しいネットが入り次第補修を行う予定です。

委 員 御説明ありがとうございました。

今後も大型の台風が発生することはあると思いますが、安全面に瑕疵(かし)がないよう、点検活動を怠らないようお願いいたします。

特に学校現場では子どもたちのケガにつながりますので、遊具等も含め引き続き点検をお願いいたします。

委 員 特別支援学校の児童生徒や、福祉的な配慮が必要な方など、避難する際に支援が必要な方への対応についてはどうされていますか。

総 務 課 長 市保健福祉部では、土砂災害警戒区域内に住んでいる方で、災害時要援護者台帳に登録されている方については、9月に発生した台風15号の対応時から安否確認を行っております。

また、今回初めて福祉避難所を開設しました。市から電話連絡し、一人で避難できないという方については、市職員が公用車を使って避難所までお連れするという対応を取りました。

スポーツ振興課長 池の川さくらアリーナはバリアフリーになっておりますので、足の不自由な方で近隣の方については、アリーナへ避難するよう保健福祉部に働き掛けを行いました。

結果、車椅子の方や高齢で付き添いが必要な方が多く避難されたと聞いております。

教 育 長 アリーナから離れた場所に住んでいる方については、南は久慈中学校、北は日高中学校がバリアフリーの避難所となっており、これらの学校へ優先的に避難することとしています。

(4) 教育委員会関連行事等について

教 育 長 それでは次に、教育委員会関連行事等について、説明をお願いします。

ア 第19回青少年のための科学の祭典・日立大会について

生涯学習課長 当イベントは、科学への興味・関心を高めるきっかけとし、科学を楽しむ機運を子どもたちに定着させていこうとするため開催するものです。

平成12年に全国大会として行われた茨城大会を契機に、翌年以降毎年行われ、本年で19回目を迎えます。

開催日時は12月1日(日)午前9時30分から午後3時30分まで、場所は日立シビックセンターマーブルホール、ギャラリーなどを会場として行います。

電気、科学、昆虫、岩石、プログラミングなど56種類の実験を、工作ブースにおいて自分で実験したり、作ったり、参加・体験したりしながら科学の楽しさを知ってもらえる内容となっています。

また、実験の解説や工作の手順を掲載した「実験解説集」を先着1,000名に無料で配布する予定です。

講座では、小学3年生から6年生までを対象に「楽しく学べる！みらい実験教室」と題して、「おいしい秘密はDNAにあり！野菜からDNAを取ってみよう」と「分光器を作って、いろんな光を観察しよう～光の波長の不思議な世界～」の2つを行います。参加は無料ですが、事前申込みが必要となっています。

また、今年度新たに「科学研究作品展～未来の科学者大集合！～」といたしまして、小中学生の夏休み自由研究作品のうち、日立市内展で入賞した作品の展示と、ミニプレゼンテーションを企画しております。

イ 文学講座「読むことと自分創り～評論家 長山靖生さん講演会～」について

記念図書館長 記念図書館では、10月27日から11月9日までの読書週間に、市民の皆さんに読書の楽しさを伝え、本に親しんでもらうことを目的とするため、文学講座を開催することとしました。

日時は11月9日(土)午後2時から午後3時30分まで、会場は多賀図書館4階大ホールです。

講師として、長山 靖生 さんをお呼びしました。

長山さんは日立市出身の評論家で、歯学博士です。歯科医の傍ら、近代日本史・思想史から文芸評論や現代社会論まで、幅広く執筆活動をされております。

これまで、大衆文学研究賞や日本SF大賞を受賞されており、今年、「日本SF精神史【完全版】」において、2019年第72回日本推理作家協会賞を受賞されました。

この講演会では、作品についてや長山さんの生い立ち、創作秘話、郷土とのつながり、また、長山さんには多賀図書館と記念図書館をよく利用いただいておりますので、図書館と資料調査などについて御講演をいただくこととなっております。

ウ 図書館まつりについて

記念図書館長 図書館4館では、各種催しを通して、図書館に親しんでもらうことや、図書館利用の促進と読書活動の啓発を進めるため、毎年図書館まつりを開催しております。

十王図書館は11月9日(土)、多賀図書館(こどもまつり)は11月16日(土)、南部図書館は11月30日(土)、記念図書館は12月7日(土)に開催を予定しております。

各図書館とも、それぞれ独自の楽しい企画が予定されておりますので、ぜひ図書館まで足をお運びください。

(5) その他

指導課長 令和元年度県北新人体育大会について御報告させていただきます。

当大会は10月16日から10月17日までの期間で実施しました。

市内の中学校15校中12校が、いずれかの種目で県大会出場を果たしております。また、全18種目中11種目において、日立市の中学校が1位という結果を残しております。

4 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 それでは、次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和元年11月28日（木）午後2時30分から、日立市役所4階庁議室で開催予定です。

5 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会10月定例会を終了します。

以 上